

二〇〇三年度 協会新委員揃う

二〇〇三年度、67回展の開催をめざし、以下の体制で臨むことになりました。
各委員の役割分担をより明確化し、円滑な運営をめざしております。全会員各位のご協力とご理解をお願いいたします。

記

◆委員長 城田孝一郎
◆副委員長 日高單也

松浦安弘

◆協会委員

(絵画部) 太田國廣・高津鐵朗
(彫刻部) 瀧 徹・石川 浩
(SD部) 金子武志・谷 浩二
(会計) 田 幸 稲・熊沢 淑

上野良隆・片岡葉子
平山隆也・矢澤健太郎
(会計監査) 鶴見雅夫・麦倉忠彦
尾埜行雄

◆運営委員

◎IT委員
(絵画部) 矢澤健太郎
(彫刻部) 佐 善 圭
(SD部) 白川隆一

◎図録委員

(絵画部) 木嶋正吾・樺山祐和
林 純夫

(彫刻部) 久保制一・田中 実

(SD部) 杉田文哉

◎目録委員

(絵画部) 薄久保友司・矢澤健太郎

(彫刻部) 加藤鉦次

(SD部) 吉原和夫

(SD部) 野口育郎

◎懇親会委員

(絵画部) 亀本信子・金本啓子

(彫刻部) 宇多花織

(SD部) 伊藤哲郎

◎受賞者展委員

(絵画部) 平田智香・桜井陽子

(彫刻部) 清水 一直

(SD部) 齋藤 学

◎会報委員

(絵画部) 福田徳樹

(彫刻部) 青木三四郎

(SD部) 山下勘太郎

◎慶弔委員

(絵画部) 山内秀臣

(彫刻部) 中垣克久

(SD部) 佐伯和子

◎京都展委員

(絵画部) 太田國廣・宮田保史

(彫刻部) 石川 浩・番浦有爾

(SD部) 田中 遵・今村敬子

(事務所員) 矢野淑子 (水・金)

ごあいさつ



委員長
城田孝一郎

新制作協会は協友を擁して三百人を越す構成員で成り立っている。それによる運営は会員の全幅の信頼と協力なしでは成り立っていかない。

先輩方が指摘されたことの中で、健全な審査は如何にあるべきか。長年同志として参加している作家とどのようなスタンスで向い合っていくか。あるいは会規や内規を充分把握されているだろうか。そうした内部の問題はいろいろとある。

会員が全国に拠点をもち拡がりの中で如何に会の進捗を計っていくかという問題は生易しいことではない。

そうした事情背景があるにせよ、一部の会員に長年に亘る労苦を強いている現状は気の毒であるし、会員はそれに甘んじて憑依してきた事実も否め得ない。

協会役員は透明に情報を公開すべく努力をしている。皆さんと協調体制を築きたいと思うからである。

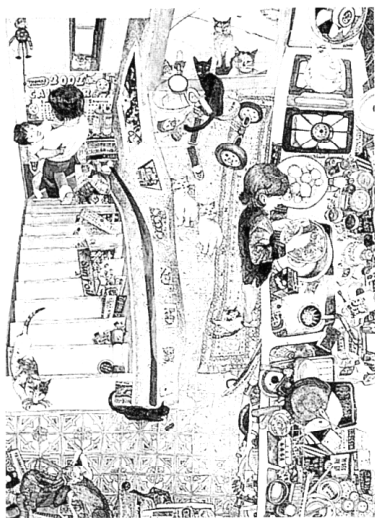
かつて経営面で崩壊寸前に追い込まれていた。今日、健全な状態を取り戻している。役員とそれに奉仕してきた会員に敬意を払うものである。新制作協会は普通に「健康」でありたいと願っている。

絵 画

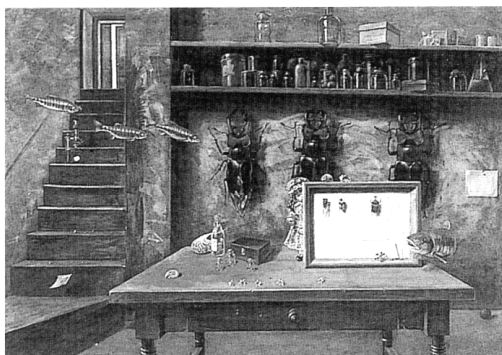
受賞作家展

会期：2003年1月13日(月)祝日～23日(木)

会場：ごらくギャラリー



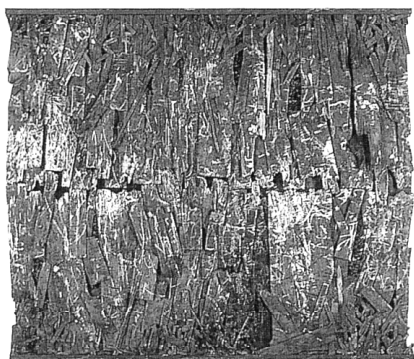
◀ 石井礼子
忙しい日Ⅰ
211.5×153cm



◀ 河村雅文
理科室・2
197×227cm



◀ 小島隆三
それぞれの部屋
175×160cm



◀ 沼本秀昭
風景の記憶一閤一
197×227cm



▶ 会場スナップ



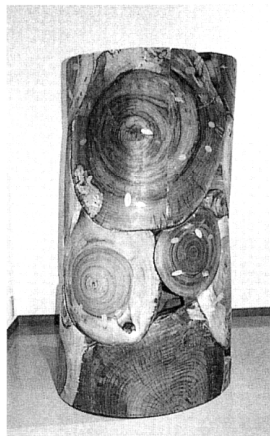
▶ 竹内 一
LucaV1～11
193×227cm



▶ 松木正代 游Ⅱ
193×227cm



▲川村兼章
みちくさ
39×17×31cm



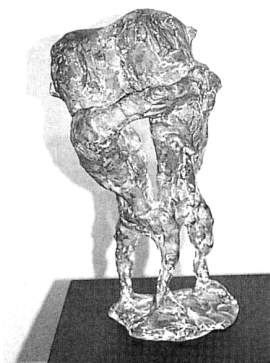
▲大野 匠 円柱 (下)
70×70×160cm

会期：2003年2月17日(月)
～3月1日(土)
会場：ギャラリーせいほう

彫
刻



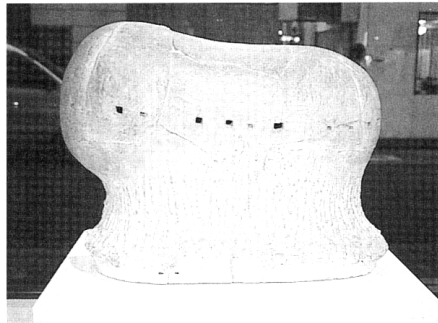
▲野村修三 いなかⅡ 37×110×34cm



▲瀬辺佳子 アマガツ
10×10×30cm

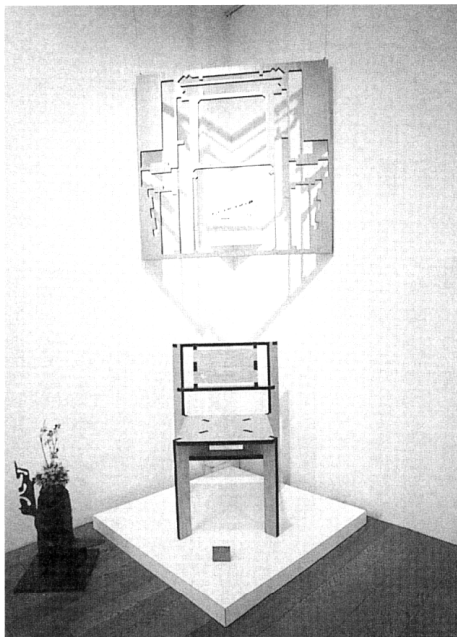


▲永津 守 始源
63×89×87cm



▲吉賀 伸 マクトゥーブ
40×78×63cm

▼下山 肇 scaravision/スカラヴィジョン



スペース
デザイン

会期：2003年2月10日(月)～2月22日(土)
会場：画廊るたん

▼加藤 徹
連
W200×D50×H110cm



* 展覧会情報 *

- ◇懇親会は、9月18日(木)、三部合同で行います。会場は池之端・東天紅
- ◇67回展新作家賞受賞者には、彫刻部会員制作による賞牌が授与されます。
- ◇67回展の全出品作品をカラー図版で掲載した、図録を発行します。
- ◇67回展図録(出品目録付)編集発行 新制作協会
価 格 二七〇〇円
- ◇入選者には図録負担金をお願いします。
- ◇67回展入場料
一般券八〇〇円/学生券(中・高・大)六〇〇円/前売券四〇〇円
- ◇前売券をご入用の方は事務所までご連絡ください。
- ◇過去二回の入場者数は65回展二二、三八九人、66回展二三、八三九人でした。

「お知らせ」

◇第56回関西新制作展、03中部新制作絵画展、第25回新制作神奈川グループ展、広島新制作絵画展が、本年5月に開催されました。

第67回展
9/20
(土)
2:00 ~ 4:00

ギャラリートーク

各部会場で開催。会員、出品者、入場者の方々の意見交換の場です。ふるってご参加下さい。

67回展応募規定 抜粋

- ◇会 期 2003年9月18日(木)より10月3日(金)まで。午前9時〜午後5時(入場は4時30分まで)。
- ◇会 場 上野公園・東京都美術館
- ◇搬入受付 9月3日(水)・4日(木)
- ◇搬 出 9月13日(土)・14日(日)
- *選外作品 9月13日(土)・14日(日)
- *入選作品 10月4日(土)・5日(日)
- ※搬入受付・搬出時間は、ともに午前9時〜午後4時まで。
- ◇陳 列 9月17日(水) 午前9時〜午後3時
- ◇応募料 応募作品一点 一〇、〇〇〇円
以後一点増すごとに、絵画部は五、〇〇〇円、彫刻部、スペースデザイン部は三、〇〇〇円を加算する。
※応募料は8月27日(水)までに郵便振込とする。用紙は協会より送付。
(なお、やむを得ない場合に限り、搬入日現金でも受付け可)
- 【絵画部】
一、作品サイズは縦二二七×横二二七×奥行三〇センチ以内。
一、額縁の幅は五センチ以内とする。
一、応募点数は制限しない。
- 【彫刻部】
一、作品の大きさは、幅、奥行は二メートル以内で、高さは三メートル以内を厳守のこと。
- 一、作品一点の重量は一立方メートルにつき一屯を超えないこと。但し組立式作品は一個の重量を一・五屯以内とし、総重量三屯を超えないこと。
一、作品が規定サイズを超過した場合、及び危険をともなうと判断された場合は搬入を受付けない。
一、応募点数は五点以内とする。
- 【スペースデザイン部】
一、空間に関するあらゆるデザイン作品、実物、実験的作品、写真、模型等。表現形式は自由であるが、図面や写真は展示のためパネル仕立てとする。
一、二個以上の部分で構成する作品は、図面又は写真を添えること。
一、スペースデザインという性格上、組作品の展示に際して、作者との話し合いの上で、構成等を一部変更する場合がある。
一、床面展示作品は、会場のスペースに限りがあるので、大きさ及び重量を考慮すること。
一、展示上危険をとまなわない作品であること。設置、移動に耐えうること。
一、共同作品の場合は、全員について必要事項を記入の上、連絡先一名を明示すること。
- 《作品の取扱い》応募作品が他の作品を破損するおそれがある場合は、搬入を受付けないこともある。

◇巡回展開催日程

- *新制作京都展
会期 03年10月21日(火)〜10月31日(金)
会場 京都市美術館
- *第67回新制作絵画展
会期 03年11月11日(火)〜11月16日(日)
会場 愛知芸術文化センター8F
愛知県美術館ギャラリー
- *第67回新制作絵画広島展
会期 03年11月25日(火)〜11月30日(日)
会場 広島県立美術館・県民ギャラリー
- ◇新国立美術館展示施設(ナショナル・ギャラリー)(仮称) 情報
二〇〇三年より建設工事が始まる。
二〇〇四年初めに料金等が決定。
二〇〇六年完成・開館予定。
- ◇新制作協会eメールアドレス
新制作協会の事務所で受けられるeメールアドレスは以下の通りです。ご利用下さい。[s-seisak@violin.ocn.ne.jp]

あ と が き

◆今年はナショナル・ギャラリーの建設工事が始まり、04年早々には料金が提示される予定なので、新制作にとつても、都美館に残るか否か、今まで経験したことのない決定をしなければならない。さて、どうしたものか。(太田)

会報編集委員 絵画部・太田國廣/彫刻部・青木三四郎/SID部・山下勘太郎
(吉國写植室)